

2020/10/11(日) 苗場山

メンバー：L 辻、福田、A（非会員）

台風 19 号発生であきらめてかけていた。なのに何と直前になって台風が日本列島から太平洋へと進路変更遠ざかって行く。登山道はドロドロだろうけど、ヤマレコ見る限りいつ行っても泥濘の登山道。思い切って出かけることにした。

台風通過直後の上信越道は途中ガスっていたが、夜明けとともに青空も見えまずまずの天気。豊田飯山 IC ~73k 長い一般道、細く曲がりくねった登山道を経て 7:15 小赤沢三合目の駐車場に着いた。駐車場は未だ余裕があったが、かなりの人が出発準備をしており、トイレも行列であった。

曇り予報だけど青空も見える。最初から木の根っこに泥に足を取られながら気の抜けない歩行を強いられた。紅葉は最盛期でダケカンバの黄色が見事だ。6 合目あたりから向かい側の山の錦の紅葉に感嘆の声を上げる。赤、黄、緑の見事なコントラスト。曇り空なのが今一残念。写真を撮るが鮮やかさが出ない。残念！帰りに期待。紅葉の向こうに大きなスキー場と佐渡ヶ島らしき景色も。日本海なのか雲なのかはっきりしない。

7 合目~8 合目の鎖場、岩場は上り下りが交錯し所々渋滞が続いた。この区間が一番大変な所のような。渋滞を縫うように休憩なしで一気に登る。木道が始まり 9 合目の先から突然視界が開け、苗場山特有の湿地帯の草紅葉が眼前に広がった。草紅葉の中に点在する池塘。真っ赤なドウダンツツジ。山頂まで続く木道。振り返れば向かいにとんがり帽子のようなカッコいい鳥兜山。苗場山にきた~あ。感激！うれしいね。

山頂まで緩やかに木道がずうっ~と上っている。これが意外ときつかった。木道にトラウマ有り。滑ることはなく助かったが所々朽ちて壊れていた。道標のある山頂は「ここが山頂？」といった何でもないところにあり拍子抜けする。広い山頂にはあちらこちらにベンチがしつらえられており、大勢の登山者が思い思いに昼食を楽しんでいた。我々もその中に混じりランチタイムとする。「風もなく良かったね」と言っていたのに食事が終わる頃には一気にガスってきて冷たい風も加わり早々に切り上げる。のんびり周遊を楽しむ間もなく下山へと向かう。天気さえ良ければもう少し余韻を楽しんでいたかったな。残念！

下山時の泥沼地獄は気を使って口の中がからからになってしまった。ちょっと油断するとズブッ！と泥の中にめり込んでしまう。スパッツをつけていたから良かったけど、うっかり尻もちなどついたら車にも乗れない。岩だと思って手をついた所は泥だったり。手も足も泥んこになりながら悪戦苦闘。それでも下りは登りで気が付かなかった黄色く紅葉したダケカンバのトンネルが見事だった。

予定より 1 時間近く早く下山。ひなびていて、ぬるめの茶色の温泉、底に鉄分が沈殿してる。こんな温泉は初めて。うっかり落としたてぬぐいが即、茶色く染まり帰宅後洗濯しても落ちず。ハイδροハイターで漂白。温泉の鉄分の威力は凄いね。

台風の影響で昨日の予定が今日になった人も多く、100 名山でもあり凄い人だったが、素晴らしい紅葉を見られて大満足の 1 日だった。

天気：曇り/時々晴れ/曇り

【コースタイム】

7:35 小赤沢三合目（発）~8:30 五合目~9:05 六合目（9:15）~9:55 九合目（10:05）~
10:55 苗場山山頂 大休憩 出発（11:30）~小赤沢三合目登山口 14:05



青空でなく残念！凄くきれいだったのに！！

黄色のトンネル しあわせ！

